

南会津 のうりんニュース

ふくしまから 始めよう。

「食」と「ふるさと」新生運動

トピックス

南会津町中荒井区が優秀賞！ ～林業研究グループ等活動発表会～



大久保部長 渡部区長 服部所長

1月31日(木)、林業研究センター(郡山市)において、林業研究グループ等活動発表会が開催されました。

この発表会は、林業に関する技術・知識の研さんに努めている団体等の日頃の取組を広く周知することを目的として毎年開かれています。

南会津管内からは、南会津町中荒井区長の渡部雅俊氏が「ふるさとの森林(やま)の育成は、多種多様な事業展開」と題し、中荒井区が抱えている課題、森林(やま)との結び付きや各種事業の展開、地域外の学生との交流事業等を通じた他地域への波及などこれまでの取組みの発表を行いました。

厳正な審査の結果、町や県の事業を活用して積極的に森林整備を行っている前向きな取り組み姿勢が高く評価され、「優秀賞(公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会会長賞)」を受賞されました。

(森林林業部)

第194号(平成31年3月)

今号の写真:下郷町中山地区 なかやま雪月火(2/16)

《目次》

●トピックス

- ・南会津町中荒井区が優秀賞！
～林業研究グループ等活動発表会～
- ・「会津田島アスパラ」キャンペーン報告会 今春も開催が決定！
- ・あいづ“まるごと”ネット第3回交流会
「HACCP」の理解を深めました！
- ・南会津地方有害鳥獣被害防止対策会議 地域ぐるみでの対策をしましょう！
- ・南会津ふるさとワークステイ受入農家交流会
“南会津 de 農活”しませんか？
- ・里山のつぶ実績検討会 平成30年産は147ha！
- ・土づくり基礎講座 土づくりの重要性を学びました！
- ・たのせ地区特産品開発講習会 新商品で地域の魅力発信！
- ・しいたけ原木の全木検査進む(南会津広葉樹利用生産者協同組合)
- ・南会津地方園芸振興会議
担い手・労働力不足改善に取り組めます！

●農林事務所からのお知らせ

- ・みんなで山火事予防！
- ・山菜の採取・出荷を行う皆様へ
- ・春からの農作業事故ゼロに向けて

●コラム

- ・林業成長産業化地域の取組

平成31年3月20日発行 福島県南会津農林事務所

「会津田島アスパラ」キャンペーン報告会 今春も開催が決定！

アスパラガスはみどりいろ。そんなことありません。とってもカラフルな野菜なんです。



キャンペーンチラシ

1月15日(火)、南会津で知る・味わう「会津田島アスパラ」キャンペーンの報告会及び意見交換会を開催しました。

キャンペーンは平成29年に商標登録となった「会津田島アスパラ」のPRをかねて実施したもので、南会津町の飲食店や下郷町湯野上温泉の宿泊施設のご協力のもと、7月から8月に「会津田島アスパラ」を使用した料理を提供しました。

報告会に出席いただいた店舗からは、品質のよい太いアスパラを安定して使用できたとの評価をいただき、生産者からは細物の活用への要望など、活発な意見交換がなされました。

平成31年度のキャンペーンは4月から5月に開催することとなり、今回の意見交換をもとに関係機関・団体が一体となって商工観光と連携した「会津田島アスパラ」のPRに取り組んでいくこととしています。

(農業振興普及部)

あいづ“まるごと”ネット第3回交流会 「HACCP」の理解を深めました！

2月19日(火)、道の駅あいづ 湯川・会津坂下(湯川村)において、平成30年度あいづ“まるごと”ネット第3回交流会を開催し、会員や各町村の担当者などおよそ70名が参加しました。



HACCPについて説明する
二瓶代表取締役

はじめに、有識者のアドバイスを受けられる検討会議(2回)やテストマーケティングを実施した「会津地方6次化商品づくり支援事業」の成果報告や事業を活用した感想や商品改良等について事例発表を行いました。

続いて、2021年までに全ての食品等施設への導入が義務付けられる「HACCP」について、会津保健所の担当者から説明がありました。今後の製造工程管理に深く関わる内容であることから、事業者から多くの質問があるなど、その関心の高さがうかがえました。

これに関連して、いち早く「HACCP」を実践している会津中央乳業(株)代表取締役の二瓶孝也氏より、導入の経緯や利点などにについて、自らの体験談を交えて発表いただいた後、参加事業者同士の活発な交流が行われました。

あいづ“まるごと”ネットでは、来年度も管内の6次化商品の開発や販路拡大について支援を続けてまいります。

(企画部)

南会津地方有害鳥獣被害防止対策会議 地域ぐるみでの対策をしましょう！

12月11日(火)、「平成30年度南会津地方有害鳥獣被害防止対策会議」を開催し、JA会津よつばや町村などの構成員15名が参加しました。

会議では、管内4町村の有害鳥獣による農作物被害状況について出席者間で情報・認識を共有するとともに、当事務所から先進地の被害対策事例について情報提供しました。

管内4町村から平成30年度の被害対策の取組状況として、電気柵等の侵入防止柵による被害低減や森林整備による出没の減少、集落環境診断を実施した地区で具体的な被害対策に結びついた事例などの情報が提供がされ、これらを踏まえた今後の課題や対応方針について活発な意見交換がなされました。

有害鳥獣による農作物被害は、年々深刻さを増していることから、地域ぐるみで行う総合的な対策(被害防除、生息環境管理、個体数管理)の推進に向け、関係機関・団体と連携しながら進めてまいります。

(農業振興普及部)

南会津ふるさとワークステイ受入農家交流会 “南会津 de 農活”しませんか？

3月7日(木)、南会津ふるさとワークステイ事業受入農家交流会を開催しました。



ワークステイ事業は、首都圏等で就農や移住を検討している方に、実際に農家に滞在しながら農作業を体験していただき、新規就農に繋げていく事業です。

交流会では、受入農家の皆さんや町村担当者にお集まりいただき、受入の感想や本事業への要望をお聞きしました。受入農家からは「新しい風が吹くことで私も楽しませてもらっている。」「将来的に交流を続けていきたい。」「参加者の農業に対する考え方に感銘した。」など貴重なご意見をいただきました。

本事業は平成24年度から実施しており、7年目となった30年度の参加者は過去最多の19名を数えました。そのうち6名の方が移住・就農を検討しているとのことであり、関係機関と連携して新規就農に繋げていきたいと考えております。

4月より2019年度事業の体験者募集を開始しますので、参加を希望される方は、当所ホームページをご覧ください。

(企画部)

里山のつぶ実績検討会 平成30年産は147ha！

平成29年度に一般栽培が開始された中山間地向け品種「里山のつぶ」の作付けは平成30年度147haとなり、来年度も160haの作付けが見込まれています。



検討会の様子

大粒で多収・良食味という「里山のつぶ」の特徴を十分に引き出し、当地の稲作をけん引する銘柄とするため、1月25日(金)にJA会津よつばみなみ地区本部において「『里山のつぶ』実績検討会」が開催されました。検討会では30年産の「里山のつぶ」栽培実績や反省点、さらに31年度に向けた栽培上の留意点などが説明され、収量、品質の安定化に向けた栽培者全員の意識統一が図られました。

「里山のつぶ」は参考出品ながら30年産食味評価で「特A」と評価され、本県の中山間地向け品種として大きな注目を集めています。

当所では今年度も技術情報の配布や現地指導会等を通じて栽培支援を行ってまいりますので、疑問点等はいつでもお気軽に農業振興普及部までお問い合わせください。

(農業振興普及部)

土づくり基礎講座 土づくりの重要性を学びました！

12月13日(木)、御蔵入交流館(南会津町)において「環境と共生する農業推進セミナー“土づくり基礎講座”」を開催しました。(一財)日本土壌協会 専務理事 猪股敏郎氏を講師にお迎えし、土壌診断項目の見方や、土壌診断結果を活用した作物の生育改善について、当地方で栽培の多い水稻、そば、トマト、リンゴ等の品目を中心にご講演いただきました。セミナーには地域の内外から70名を超える聴講者が集まり、「土づくり」への関心の高さがうかがえました。



講座の様子

土づくりは作物の収量・品質向上に必要な農業生産の基本技術です。また、適切な土づくりは「環境と共生する農業」の実施に繋がります。土壌分析により、ほ場の土の状態を把握するとともに、ぜひ土づくりに取り組みましょう！

なお、土づくりや減農薬・減化学肥料栽培に取り組む農業者にはエコファーマーになることをお勧めしています。詳しくはJA会津よつばまたは農業振興普及部までお気軽にお問い合わせください。

(農業振興普及部)

たのせ地区特産品開発講習会 新商品で地域の魅力発信！

当所では、農業者の所得向上と地域の魅力向上による交流人口の拡大を図るため、地域の方々の6次化の取組を支援しております。



開発された「やまめの釜めしセット」

その一環として

2月25日(月)には、南会津町たのせ地区において、たのせふるさとづくり会を対象に、特産品開発講習会を開催しました。当日は、農林水産省から“地産地消の仕事人”として選定された山際博美シェフ(会津若松市)を講師にお迎えし、乾燥野菜の作り方や、カボチャのレトルト商品作りなどのご指導いただきました。

本講習会を通して開発した商品は、道の駅番屋や南会津ふるさと物産館等で販売しておりますので、是非お手にとってみてください。

当所では、このような講習会の他にも、専門家の派遣事業(無料)等も行ってまいりますので、6次化商品の開発や改良に関してお悩みがございましたら、お気軽に企画部までご相談ください。

(企画部)

しいたけ原木の全木検査進む (南会津広葉樹利用生産協同組合)

南会津町の素材生産業者等で組織化している「南会津広葉樹利用生産協同組合」は、平成28年1月以降、県から無償で借り受けた「きのこ原木用非破壊型放射能検査装置」2台を活用し、しいたけ原木の生産を行っています。



きのこ原木用非破壊型放射能検査装置

町内の山林から伐り出した全ての原木について放射性物質検査を行い、原木1本1本に番号を付け、検査データによる証明書と一緒に提供することで、安全なきのこ原木の出荷を推進しています。



出荷用しいたけ原木

こうした取組みにより、平成28年度は55,200本、平成29年度は64,600本の出荷実績となり、3年目となる平成30年度は90,000本を目標に、出荷する原木の全量を検査しているところです。

今後も、各町村等の協力を得て、きのこ原木生産に適する広葉樹林を確保しながら計画的な伐採を行い、安全安心なきのこ原木を「南会津ブランド」として提供し、森林の再生を図っていく考えです。

(森林林業部)

南会津地方園芸振興会議 担い手・労働力不足改善に取り組みます！

1月21日(月)、御蔵入交流館(南会津町)において、「平成30年度新たなふくしまの未来を拓く園芸振興南会津地方推進会議」を開催しました。



会議の様子

本会議は各地域ごとに策定している「園芸産地復興計画」の達成状況や、今後の産地拡大に向けて重点的に取り組む課題等について検討するためのものです。

会議には計画を策定しているトマト、アスパラガス、リンドウ及び宿根カスミソウの各部会関係者、JA、各町等22名が出席しました。会議ではJA全農福島より、他県の優良事例が紹介されるなど、活発な意見交換がなされました。

当地方では担い手・労働力不足が喫緊の課題であることから、今後、より具体的な方策を打ち出していくことが求められているため、当所としても新規就農者の確保等による担い手の確保に努めてまいります。

(農業振興普及部)

みんなで山火事予防！

春は空気が乾燥し、風の強い日が多いため、山火事が発生しやすくなります。そこで4月1日から5月31日までを南会津地区春の山火事予防運動強化月間としています。



南会津郡内をパレードする様子

平成29年の全国の山火事発生要因で最も多いのは「たき火」、次いで「火入れ」となっています。このことから、住民の皆さんが火の取扱いに注意を払っていただければ多くの山火事を防ぐことができます。

南会津の豊かな山の緑を守るため、山火事ゼロを目指し、火を取り扱う際には以下の点に注意しましょう。

- ① たき火の後始末を徹底する。
- ② 煙草の投げ捨てをしない。
- ③ 強風及び乾燥時の火気使用は避ける。
- ④ 火入れの際は予め町村に届出を行い、火の始末を完全にします。

(森林林業部)

山菜の採取・出荷を行う皆様へ

県では、山菜について、品目ごとに市町村単位で緊急時環境放射線モニタリング検査を実施しています。

南会津管内の山菜については、下郷町・只見町・南会津町のコシアブラの出荷制限が現在も継続しております。

ほかにも県内外において、摂取制限及び出荷制限となっている市町村がいくつかありますので、出荷制限指示が出されている市町村を再度確認の上、該当する地区の山菜については、出荷販売及び宿泊施設等での提供をしないようにお願いします。

出荷制限のない市町村で採取された山菜についても、今シーズンのモニタリング検査で安全が確認されたから出荷販売及び宿泊施設での提供を行うよう、ご協力をお願いします(昨年までの検査で安全性が確認された山菜類に関しましても、出荷・提供前に改めて検査を行う必要があります)。

また、例年、山菜と有毒植物の間違いによる食中毒が発生しておりますので、併せて注意いただきますようお願いいたします。

(森林林業部)

春からの農作業事故ゼロに向けて

ここ数年、農作業中の事故で亡くなる方は、全国で350人前後と高止まりしています。この発生件数を10万人当たりの死亡事故発生数に換算すると、一般交通事故の約5倍、建設業で起こる事故の約3倍にもなり、年代別では、65歳以上の方が事故全体の8割以上、80歳以上は全体の5割を占めています。



本県でも平成30年度は7件(速報値)の死亡事故があり、うち6件が65歳以上の方の事故となっています。

春から、耕起や田植え作業等が本格的に始まり、慌ただしい日々が続きます。余裕を持った作業計画を立て、家族や近所の方々とは声をかけ合い、農作業安全に心掛けましょう。

(農業振興普及部)

コラム

林業成長産業化地域の取組

平成29年4月に「林業成長産業化地域」に選定された南会津町で進めている事業の取組みを紹介します。

これまで、林業成長産業化推進会議を軸に分科会やコア会議等を開催し、計画全体の検討を行うとともに、本年度事業である①地上レーザー計測と森林GISによる資源管理、②素材供給計画、③新しい森林活用計画、④森林認証林の拡大、⑤町産材を使った住宅支援、⑥グラップル付きバックホウ(ウルトラザウルス®)の導入を進めてきました。具体的には、①～③は調査等の委託を中心に森林資源の基礎資料収集と素材の需給計画を策定しています。④は現在の認証林477haを8,812ha追加申請し9,289haまで拡大するものです。⑤は年度内に地域材住宅10棟への支援を行っています。本年度唯一のハード事業である⑥は南会津森林組合に納車されました。



木材のグラップルと掘削作業が可能なウルトラザウルスロボ

また、来年度以降の計画である木の町コミュニティ館(仮称)、木質チップボイラー、チップパー施設、菌床シイタケ生産施設等は、十分な情報収集と構想の検討を進めているところです。

(森林林業部)

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。